

# 私のだざいふ

太宰府キャンパスネットワーク会議  
学生連絡会 令和5年度会長  
日本経済大学経営学科4年

ひだかしん  
日高 慎さん



## 「太宰府天満宮があるところ」

3年前地元宮崎県から大学に入学した際は、太宰府市に対する印象はその程度しかありませんでした。しかし、太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会（以下：学生連絡会）に所属し、5大学の学生や地域の人たちと交流するようになり、「温かい町」だと感じるようになりました。

令和5年度、自ら立候補し学生連絡会の会長を務め、大学生と地域社会をつなぐ企画や活動に関わりました。9月には、日本経済大学の竹川克幸先生たけがわ かつゆきや学生有志と一緒に「だざいふ遊学プロジェクト」を初開催し、太宰府天満宮境内・参道の散策や名物の梅ヶ枝餅焼き体験など、太宰府の歴史や文化を楽しく学びました。11月には太宰府市内の高校生も交えて学生と市長との意見交換会を行い、太宰府市の良いところ、改善点を話し合いました。そして12月、五条振興会の「五条マルシェ」とも共催で、キャンパスフェスタ2023を開催し、多くの団体やお客さんにも参加してもらいました。これからも、「心温まる町だざいふ」を学生の若い力と情熱で盛り上げていきたいです。

## Contents

目次

2024年4月号

### 特集

君にエール、送りたい

..... 2~5

市民課のサービス再発見

..... 8~9

令和6年度施政方針

..... 10~18

### 連載

..... 19~23

なんでも情報コーナー

..... 24~33

太宰府の文化財

..... 42

# 市政ニュース

## 災害支援

## 石川県穴水町に職員を派遣

令和6年能登半島地震の被害が現在も続く石川県穴水町に2月18日(日)~3月5日(火)の期間、本市の職員1人を派遣しました。現地では、全国から集まった派遣職員と協力して家屋の被害認定調査などに従事しました。今回の派遣は、福岡県から福岡県市長会へ要請を受け、本市が副会長市として率先して応じたもので、今後も要請に基づき職員を派遣します。

2月16日(金)に行った出発式で、楠田市長は「九州と異なり寒さも厳しいなか、くれぐれも心身に気をつけて、現地の人に寄り添い市を代表して役割を果たしてきてください」と派遣職員を激励しました。



出発式の様子

## 団体からの寄附

## 企業版ふるさと納税として寄附をいただきました

デジタルマーケティングを活用した地域密着型事業を展開する合同会社Heuteホイテから「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」に、本市に関連会社の物流拠点を置くコーユレンティア株式会社から「令和の都羽ばたく太宰府! 推進プロジェクト」に寄附をいただきました。コーユレンティア株式会社からは本市が本制度を始めた令和3年度から継続して寄附を受けています。



合同会社Heute



コーユレンティア株式会社